

問 国の制度を利用し、

武道場を整備できないか

答 現状のまま、有効活用していきたい



一般質問
松原 哲也 議員

板にするなどであると聞くが、それらについての当町の対応は。

となることから、これより高額になると考えている。

教育長

補助金や交付金を有効に活用し、学校現場とも連携をとりながら、社会変化に対応できる教育環境づくりを推進していきたい。

地元鋼測協議会との話し合いは

三木東浄化センターの行方は

公共下水道と一括処理した場合との経済比較・検討を行っていると思うが、その結果を示せ。

地元地区協議会役員の方とは、昨年から協議を行っているが、面積と地盤高の問題で調整は難航しており、棚上げ状態になっている。近々、早急に協議を行いたいと考えている。

上下水道課長

公共下水道と一括処理した場合との経済比較・検討を行っていると思うが、その結果を示せ。

町長

公共下水道の管路口径等の変更に約8億600万円、浄化センターの拡張に約3億8000万円必要になると、試算結果が出ている。また、既設管路等の手戻り工事が必要

一般質問

松原 哲也 議員



▲町民柔剣道場

武道を学び、精神を鍛えるため、多くの町民に利用されている町民柔剣道場だが、建物の老朽化対策や、利便性の向上などが求められている。

また、中学校の必須科目に武道が加わるとなると、耐震性能確保などの安全性が問われる。町民柔剣道場の整備について考えを聞く。

教育長

現在の町民柔剣道場の耐震診断などを行い、学校教育や社会スポーツの場として、有効活用していきたい。

町が進める 経済危機対策は

国会では、総額13兆9256億円の史上最大規模の2009年度補正予算が成立した。

経済危機対策関係経費として、いくつかの予算が配分されているが、中でも地方公共団

町長

体への配慮として交付される「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」に1兆円計上されている。本町に支給される交付限度額はいくらか。また、それを活用し予定している事業内容は。

本町の交付限度額は、1億5167万7千円が示されている。事業内容については、本町の事業要望を国と調査中である。

町道砂入荒木線の 開通を願う

百十四銀行三木支店

の西側に位置する三叉路から北進できる南北幹線道路計画は、開通することによって、交通の利便性の大幅な向上が期待できる。この路線の工事費は、今回補正の公共投資臨時交付金制度が適用できるか。

土木建設課長

現在、国・県等の関係機関に対して協議中である。

急がれよ 学校ICT環境整備

内容は、学校内のテレビをデジタル化することや、黒板を電子黒

問 平井幼稚園（新設統合）の将来展望は

答 新しい時代に添うような施設が必要



一般質問 桑井 明人議員

新設統合の候補地として最適と思うがどうか。

町長

全国的に少子化問題が重要視され、各自自治体では様々な対策がされている。昨年より、平井幼稚園（井上分園）の休園が学校適正化審議会において審議されている。生活と育児が両立できる環境の整備された幼稚園の建設を、計画立案することが急務と考える。

教育は、人間形成にとつて大事。特に、基礎となる幼児教育は大切である。その幼稚園の環境整備は一定規模で統合し、園児の送迎時の安全、保護者や職員の駐車場など、ある一定のスペースを持った安全・安心して学べる、新しい時代に添うような施設が必要である。提案の場所は最適と思うが、なお学校適正化審議会の意見も参考にしたい。



▲平井幼稚園井上分園

教育長

近年の少子化の中にあつて、井上分園の休園や統廃合だけでなく「認定こども園」も視野に入れた将来的な見通しを持った、新しい幼稚園再編の



構想が審議される時期が来ているのではとの意見もある。新しい幼稚園教育に対する期待に十分応えるため、より効果的、効率的で、機能的な教育環境が求められている。質の高い幼稚園教育の展開のためにも、適正な教員数を要した規模の確保「預かり保育」「交通の安全性や利便性」など避けて通れない喫緊の課題となっている。

幼稚園の預かり保育の推進と、今後の対応は。

教育長

現在、田中幼稚園で試行的に実施している。極めて好評であり、幼稚園側からも、子どもの成長の上で、大きな役割を果たすのではないかと高い評価を得ている。

他市町の実施も参考にしながら、町内公立幼稚園に導入する方向で審議していきたい。

町道上池荒木線と、
県道小養・前田東線の
早期接続を

この路線については、町長就任以来の課題でもあり、議会においても長年要望し続けている町内を南北にアクセスする重要路線である。過去に、何度か関係機関と協議をした経緯はあるが、あれからかな

り年月が経過し、状況も変化している。町長の英断でもって、今年度から着工に向け努力すべきと思うが、考えを伺う。

町長

この路線については、町中心部から香川大学医学部附属病院への連絡道としても、町唯一の南北道としても重要な路線であること認識している。町長就任以来、国土交通省や県と協議、要望してきたが、具体化には至らなかった。現在、長年親交を培ってきた方が全国道路整備の事務局長をしており、町の負担が少ない「地域活力基盤創造交付金事業」を活用した中で、関係機関と事業計画について折衝中である。関係機関との協議が済み次第、地元関係者や地権者の了解を得た上で進めたい。

問 国の補正予算に対する

町の取り組みは

答 切れ目なく連続的に施策を実施する



一般質問
原田 照治議員

を実施していく。

国の平成20年度の補正予算における「生活対策」と21年度の補正予算における「経済危機対策」の本町の取り組みを問う。

町長

地域住民と地域経済を守るため、今後、本町においては、国の「経済危機対策」の柱に沿った事業の実施計画を早急に策定し、※繰越明許費で計上している「生活対策」事業と合わせて、切れ目なく連続的に施策

※予算の繰越とは
繰越明許費の繰越は、歳出予算の経費のうち、その性質上または予算成立後の事由により、当該年度内に支出を終わらない見込みがあるものについて、予算の定めるところにより、翌年度に限り繰り越して使用することができるとをいう。

今後の財政見通しは

現下の厳しい地方財政の現状を踏まえ、新たな税収入の確保等々、本町における今後の財政見通しについて伺う。

町長

現在の地方財政の現状を踏まえ、税収入の確保、受益者負担の適正化等、財源の確保に努める一方、各種施策の優先順位についての厳しい選択を行い、限られた財源の重点的配分と経費支出の効率化により、健全財政を堅持する。

経済危機対策の活用

国の平成21年度補正予算を、今後どのように活用するのか。

町長

町民が安心して暮らせるよう、その声に耳を傾け、創意と工夫を凝らし、「生活対策」「経済危機対策」を迅速、着実に実行していく。

環境月間とクールアースデー

今年「クールアースデー」に対する本町の取り組みを問う。

町長

6月21日には二酸化炭素削減ライトダウンキャンペーンとして「ブラックイルミネーション」に、また、7月7日の「クールアースデー」に行われる「七夕ライトダウン」に、昨年同様参加する予定である。

希少糖研究研修センターの研究成果は

旧小菘幼・小・中学校に誘致した希少糖研究研修センターの、当初の目的は達成できているか。

教育長

世界への学術研究の発信基地として、また、産業再生への研究拠点や科学教育の拠点として、極めて順調なスタートを切っている。

当該センターが、地域の活性化に貢献できているか。

教育長

昨年11月には、同センターで国際希少糖学会が、世界10か国の研究者を招いて開催されたほか、高校生による希少糖甲子園や、小学

今後の当該センターの進むべき方向は。

教育長

香川大学医学部や農学部で行われている医学、農学、食品分野での研究成果と相応して地域の活性化はもとより、広く世界の希少糖研究の発信基地を目指している。



▲地域の人々との交流の場に

農業集落排水事業における県費補助金等の要望書

県当局並びに県議会におかれましては、日頃、広く県民の福祉向上はもとより、安心安全な生活環境整備に鋭意ご高配を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、本町では、町の目指すべき将来像を「人と自然にやさしいまち・三木」と定め、快適な生活環境の確保と公共用水域の水質の保全を図るために、農村地域においては平成7年度から農業集落排水事業に、また、住宅密集地区では平成17年度から公共下水道事業に取り組んでおります。

特に農業集落排水事業では、現在、井上南部地区、三木東地区、三木中央地区の3地区において事業を実施していますが、事業実施に当たっては、国庫補助のほか、特に、県費補助については、当該地区を重点整備地区に指定していただき、15パーセントから30パーセントに嵩上げた補助率で事業実施の財政的な支援をいただいた経緯があります。

しかしながら、県が地方交付税の削減などによる厳しい財政状況を反映して、平成19年度以降、県の補助率は30パーセントから22.5パーセントと大幅に削減され、本町にとっては事業の円滑かつ持続的な計画の推進が危ぶまれる状況にあります。

とは申しながら、汚濁排水などで悪化している水路及び河川の環境保全に努めながら、処理水の有効利用を図り、もって住民生活の健康で文化的な環境基盤の整備を進めることは、我々町議会においても、本町行政の喫緊の課題であると認識いたしております。

よって県におかれては、次の事項について特段の配慮がなされるよう強く要望いたします。

記

1. 農業集落排水事業における現在の県費補助率を維持されること。
2. 三木東浄化センター(仮称)建設予定地の決定後、速やかに補助金を交付されること。
3. 下水道事業の必要性を県民に広く周知されること。

平成21年6月25日

香川県木田郡三木町議会

提出先 香川県知事、香川県議会議長

議 員 発 議 案

私たち町議会は、第2回定例議会最終日の6月25日、本町の農業集落排水事業推進のために決議案2件を提案し、いずれも満場一致で可決した。

(原文掲載)

発議案2号

提出者 石井 定夫

筒井敏行県議会議員の辞職を求める決議

昨年来、木田郡選挙区(三木町)選出の県議会議員は、自らの議会活動を通じて、三木町を挙げて取り組んでいる農業集落排水事業(下水道事業)の中止や補助金の不執行を各方面に強く働き掛けていることが明らかになっています。このため、先般、三木町議会下水道推進特別委員会の正副委員長との折衝において、平成12年12月20日付でなされた三木町議会における「公職関係者の公共土木工事契約対象者除外決議」を撤回しなければ、処理場候補地を巡る問題について、一步も踏み出せない旨を述べました。

しかしながら、平成12年の決議につきましては、県議会議員の関係する会社が提訴した裁判において、適法であり町当局もこれを尊重しなければならないとの判決が既に最高裁で確定しております。しかも、農業集落排水事業及び公共下水道事業は多くの町民が望んでいる町政上の最重要事業であって、所要の法手続きや議会の議決等を経て、国・県の事業採択を得て推進しているところであります。

よって、筒井県議会議員の辞職を求め、猛省を促すものである。

以上、決議する。

平成21年6月25日

香川県木田郡三木町議会

委員会レポート

総務

6月開会

郵便入札を試験的に実施

問 この入札方法は、業者が入札会場に集まることのないために、談合等の不正防止には極めて有効とのことである。

答 どのような工事を主に選定するのか。

政策情報課長

混乱が起きないように、標準的な工事を審査委員会を選定してもらおう。

問 入札制度の公明、公正を図るのであれば、一般競争入札を行うのが今の流れではないか。

今年度の事業は、三木中学校校舎中棟、平井および田中小学校校舎南棟など5棟について耐震工事の設計業務を、平井、水上小学校屋内運動場、平井小学校

小・中学校校舎等耐震化進む

6月開会

教育民生

答 副町長
一般競争入札となると、対象が全国に広がり参加業者数も相当多くなる。事務量も多くなり、現在の人員ではとても対応できない。そのため、本町では条件付一般競争入札で対応している。

問 北棟については耐震補強工事を実施する。
問 総事業費および国の補助率は。

教育総務課長

事業費総額は13億7000万円、補助率は、国費が2分の1から、3分の2である。

問 予算措置はどのようなっているか。

教育総務課長

国費の75%を起債で対応し、その残りの3分の1が県補助金となる。

建設経済

5月開会

担当課より平成20年度からの繰越事業と、平成21年度の主な事業計画の報告があった。主な質疑は次のとおりである。

問 オーバーレイ舗装の箇所は回数を重ねると路面が上がってくるため、路盤を漑き取り舗装することはあるか。

土木建設課長

路床、路体が悪い箇所については部分的に抜き替えを行い、その他の路線についてはオーバーレイ舗装で対応する。

問 町営住宅に火災警報機の設置予定となっているが、そのシステムは。

土木建設課副主幹

火災警報機自体は、煙及び熱感知型の電池式で、10年程度電池交換が不要なものを考えている。

下水道推進

6月開会

担当課から、本年度の公共下水道事業と、農業集落排水事業の両事業計画について説明があった。

あった。
主な質疑は次のとおりである。

公共下水道事業

問 三木浄化センター用地の地権者との折衝状況は。

上下水道課長

用地買収に応じていただけない地権者と交渉中である。

問 処理水の放流先について、各水利組合との協議状況は。

上下水道課長

各水利組合との協議を重ねてきたが、新川への放流は同意が得られない状況である。

農業集落排水事業

問 三木東地区の処理能力を3000人以下に縮小した場合、処理エリアの見直しが必要ではないか。

答 上下水道課長
三木東地区と中央区などを含めて、エリアの見直しを行いたい。

問 見直しは、別の新しいエリアをつくるのか、合併処理浄化槽に切り替えていくのか。

上下水道課長

本特別委員会や推進協議会に諮りながら、進めていきたい。

問 農業集落排水事業を公共下水道事業に接続すれば、建設費が安価にできるのではないかなどと言われているが、制度上可能かどうか。

副町長

両事業は、事業費で割り当てている財源を、双方の事業で融通されていることから、基本的にパイパス以南については、当初の事業計画どおり、農業集落排水事業で行いたい。

追跡

第13回

レポート

どう
なっとんば?



防災ラジオをもっと活用せよ

防災情報だけでなく、町民にとって
関心のある情報を流せば、もっと
利用してくれるのではないか。

平成18年3月定例議会 議案質疑



町長答弁

利用価値を高めるため検討する。

しています



チャンネルみきとして、1日3回、朝、
昼、夕、いろいろな情報を流している。

ごみ収集箱等の新設に補助金を

現在、町内各地域のごみ集積所は、そ
れぞれの地区での負担により、設置から
維持管理まで全てがなされている。

収集箱や散乱防止ネットの購入
等に、補助金の交付を。

平成19年9月定例議会 一般質問他



町長答弁

現在、高松市や東かがわ市で一部補助を
している。

町としては、費用負担の公平性の観点か
ら検討したい。

変化なし



従来どおりのゴミステーション。

元気なグルーups紹介

氷上長楽会 グランド・ゴルフ部 会長 藤川恵一

グランド・ゴルフを始めて、はや8年になりました。

私たち高齢者がスポーツを通じて、健康の増進や親睦を図るよき場所になっています。

現在、火曜、木曜、土曜、日曜の週4回、朝7時より1時間練習をしています。参加者は20名位です。

練習場所は、サンサン館みきより南東300メートルの丘陵地で、通称「チョンポリ山」です。周囲には樹齢50年の桜が植わっていて、夏には涼風が吹いています。

グランド・ゴルフは、

鳥取県の泊村で考案され、昭和63年に全国スポーツレクリエーション祭の正式種目になっています。このスポーツは、個人プレーですので、自分の体力に合った行動ができます。高齢者には最適かと思えます。

1時間の練習は、18ホールを回り、2000歩から3000歩の運動が楽しみながら自然にできます。練習上達の目安にスコアをつけて、自分のレベルを確かめます。また、年3回は大会をして技術の

向上を図っています。

参加者は、和気あいあいの雰囲気と、仲間同士の楽しい語り合い心を和ませ、心身ともに若返りを実感しています。

いつまでも元気で続けたい思いで一杯です。



▶ 皆で楽しく健康に

新メンバーで頑張ります。



▲左から白井委員・香西委員・渡辺委員・三宅委員長
三木副委員長・富田委員・松原委員

お気軽に議会を傍聴しませんか

本会議の傍聴人の定員は、30人となっていますが、当日の午前8時30分で傍聴希望者が30人を超える場合は、抽選を行います。
なお、定員の30人に満たない場合には、先着順に事務所にて所定の手続きの後、随時、傍聴券をお渡しします。

●お問い合わせは、議会事務局へ

☎(087) 891-3311

次の定例議会は、9月中旬頃の予定です。

編集を

終えて

今年の梅雨は、少雨続きで3年連続の渇水になっている。このまま渇水が長期化すれば、早明浦ダム貯水率が0%になるのも間近と思われる。既に水道用源水調整池「宝山湖」の水を運用している。住民の皆さん、水を必要最少限に使用して、節水にご理解と、ご協力をよろしくお願ひします。

今回の広報委員も改選となり、新メンバーで町民の皆様が発行に努めて参りたいと思ひます。どうぞ、よろしくお願ひします。

(S・M)